

全鉄連流通動態調査結果表 2021年4月分

(2021. 5. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		3月実績	前月比	4月実績	前月比	4月実績	前月比	4月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,160	102.6%	35,026	94.1%	35,556	96.0%	5,630	91.4%	
	大阪	2,857	93.2%	16,920	95.6%	17,021	95.0%	2,756	96.5%	
	愛知	3,842	115.5%	5,636	121.9%	5,000	121.7%	4,478	116.6%	
	計	12,859	103.7%	57,582	96.7%	57,577	97.5%	12,864	100.0%	
形鋼	山形鋼	東京	18,007	103.2%	8,403	95.2%	8,621	104.2%	17,789	98.8%
		大阪	23,233	104.7%	8,949	91.6%	8,291	95.2%	23,891	102.8%
		愛知	10,118	108.0%	4,255	85.6%	4,637	110.0%	9,736	96.2%
		計	51,358	104.8%	21,607	91.7%	21,549	101.6%	51,416	100.1%
	溝形鋼	東京	14,014	97.7%	5,778	104.3%	5,891	100.4%	13,901	99.2%
		大阪	13,961	100.4%	5,135	88.1%	5,269	91.3%	13,827	99.0%
		愛知	7,186	103.4%	2,798	85.3%	3,146	103.4%	6,838	95.2%
		計	35,161	99.9%	13,711	93.6%	14,306	97.5%	34,566	98.3%
	H形鋼	東京	33,821	103.5%	15,116	90.9%	16,680	107.7%	32,257	95.4%
		大阪	55,105	107.5%	23,516	87.8%	25,449	110.9%	53,172	96.5%
		愛知	15,604	104.2%	10,430	94.9%	11,103	107.2%	14,931	95.7%
		計	104,530	105.7%	49,062	90.2%	53,232	109.1%	100,360	96.0%
合 計		191,049	104.3%	84,380	91.1%	89,087	105.2%	186,342	97.5%	
コ ラ ム	東京	10,014	100.7%	2,448	91.5%	2,950	113.3%	9,512	95.0%	
	大阪	14,612	102.7%	2,595	78.1%	2,955	100.5%	14,252	97.5%	
	愛知	1,899	103.3%	1,525	81.3%	1,535	84.6%	1,889	99.5%	
	計	26,525	102.0%	6,568	83.4%	7,440	101.1%	25,653	96.7%	
軽量C形鋼	東京	3,755	100.8%	1,765	89.1%	1,962	100.6%	3,558	94.8%	
	大阪	3,128	95.5%	1,597	112.7%	1,514	96.8%	3,211	102.7%	
	愛知	2,539	100.8%	1,085	112.8%	1,082	115.0%	2,542	100.1%	
	計	9,422	99.0%	4,447	102.0%	4,558	102.3%	9,311	98.8%	
総 計		239,855	103.8%	152,977	93.1%	158,662	102.0%	234,170	97.6%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪19 愛知13 合計62社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。